

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会 会報

かごしま家族ねっと 第22号



◀(ヒマラヤ山脈に20年に1度
咲くという幸運の蘭の花)

発行月 令和5年9月
発行人 鹿児島県知的障害者施設家族会連合会
事務局 〒890-0032
鹿児島市西陵7丁目30番3号
川畑岩夫 宅
TEL/FAX 099-281-9548
携帯電話 090-4344-8857

令和5年度 鹿施連評議員会(総会)を開催

令和5年6月24日(木)「ハートピアかごしま」において、令和5年度評議員会(総会)が4年ぶりに開催されました。

まず始めに、鹿施連の町元茂副会長があいさつし、中村俊久会長が体調不良にて欠席のため、中村会長からのメッセージを代読されました。

中村会長からのメッセージは

- ① 新型コロナウイルス感染症の法律上の取扱いが「5類」に移行したが、感染者数は増加しており気が抜けません。
- ② 研修会等も対面で開催されているが、利用者と家族との対面での交わりが重要と認識しています。
- ③ 全施連の理事会等もリモート会議や書面会議で開催されているが、議論が交わされていない。
- ④ 「請願4項目」については、県議会議員との意見交換中であり、9月議会を目指しています。
- ⑤ 今年度の研修会は、全施連が発刊した「地域共生ホーム」に基づき開催する予定にしていますので、みな様方が知りたいことがあれば、この機会に意見を伺いたと思います。
- ⑥ 鹿施連の活動への協力依頼をお願いいたします。



などでした。

続いて、来賓として「鹿児島県知的障害者福祉協会」副会長 山本秀樹氏と「鹿児島県手をつなぐ育成会」理事長 花木千鶴氏のあいさつがあり、自己の意思表示が上手くできない知的障がい者のため、諸団体が車の両輪のごとく手を携えて運動することの大切さ、知的障がい者に係る法制度が改定されていく中において、利用者に対してより良い支援へとつなげていくにはどうしたらよいか等について話され、知的障がい者が幸せに暮らしていくための思いや願いを共有できました。

議事に入る前に、議長にみさかえ学園保護者会会長の小城守氏を選出し、議事に入りました。

まず、令和4年度事業報告・収支決算書報告・監査報告が報告審議され、原案通り全員一致で承認されました。引き続き、令和5年度の事業計画(案)・予算(案)、運動の基本方針、具体的な取り組みや今年度は、大隅地区の支部長及び副支部長の交代があった旨の報告並びに鹿施連役員の改選年でもあり、新役員(案)が提案され、質疑応答・討議後、全員一致で承認されました。

主な質疑応答等は

- ① 利用者のマイナンバーカードの取得について
～取得すべきか、否か。取得した利用者のマイナンバーカードの保管の状況は～
- ② 成年後見人制度の利用状況について
～現行法上において手続きが難しく、長時間かかり、辞任・解任後は再任が難しい～

等の意見があり、それぞれの対応策について話し合い、情報を共有することができました。

最後に、出席者全員で今後の活動の充実・発展を確認し合い評議員会(総会)の幕を閉じました。

後日、成年後見人制度について調べますと、

成年後見制度利用支援事業は、市町村が実施主体として行っており、家庭裁判所が最終的に後見人を選任します。本人の親族や司法書士、弁護士、社会福祉法人、市民後見人を選ぶ方法があります。また、交代も条件が整えば可能です。

通常、後見人は本人の財産管理が主で、医療行為の同意、身元保証、連帯保証、直接の介護や看護は出来ず、本人の死後は含まれません。親亡き後では身上監護の問題が残ります。

また、成年後見人について継続的に財産管理をしていくための1つの選択肢として「**後見制度支援信託**」の利用を検討する場合があります。

後見制度支援信託とは、ご本人の財産のうち、日常的な支払いをするのに必要十分な金銭を預金等として成年後見人が管理し、通常使用しない金銭を信託銀行等に信託する仕組みです。

この仕組みを利用すると、成年後見人は日常的に必要な金銭を管理することになり、財産管理負担が軽減されるとともに、家庭裁判所への報告も容易となるメリットがあります。

令和5年度 鹿施連の具体的な取り組み

(1) 組織の点検と強化

- ① 執行部体制の確立
- ② 支部執行部体制の確立
- ③ 各家族会間の情報の交換、連携の強化

(2) 研修活動の推進

- ① 研修会の開催 ～「地域共生ホーム」執筆者による研修会～
- ② 家族会並びに施設職員研修会の開催(鹿児島県知的障害者福祉協会との共催)
- ③ 支部研修会の開催

(3) 啓発活動の推進

- ① 広報誌「かごつま家族ねっと」の年2回発行
- ② 鹿施連の存在や活動の紹介

(4) 全施連、九州協議会との連携の深化

- ① 全施連理事会・総会、全国大会への参加
- ② 九州協議会理事会・総会への参加

(5) 行政機関・議会等への働きかけ等

- ① 県及び市町村職員との連携
- ② 請願4項目の活動の推進

(6) 関連団体との連携の推進

- ① 鹿児島県知的障害者福祉協会との連携
- ② 鹿児島県手をつなぐ育成会との連携

令和5年度 事業計画の予定

年5回の理事会・年2回発行の会報
については割愛しました。

年 月 日	事業内容	備考
R5 4/16(金)	全国知的障害者施設家族会連合会 第1回理事会	リモート会議(2名参加)
R5 6/27(火)	九州協議会 会長等会議	熊本市内(1名参加)
R5 6/30(金)	全国知的障害者施設家族会連合会 社員総会	書面議決
R5 10/16(月) 10/17(火)	九州協議会 九州ブロック研修会 (熊本県玉名市 ホテルしらさぎ)	
R5 11/20(月)	鹿施連 令和5年度 研修会 (ハートピアかごしま 1F 多目的ホール)	「地域共生ホーム」執筆者 北九州市立大学 小賀久教授 による講演
R6 1/21(日)	家族並びに施設職員研修会(共催) (鹿児島市与次郎 サンロイヤルホテル)	発表家族会 ・鹿児島市地区支部～旭福祉センター ・南薩摩地区支部～ハイビスカス福祉会

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会 新役員(令和5~6年度)

役職名	氏名	施設名	支部名	役職名	氏名	施設名	支部名
会長	中村 俊久	しょうぶ学園	鹿児島市	監事	米元 憲治	明星学園	鹿児島市
副会長	垂口 政治	ハイビスカス福祉会	南薩摩地区	監事	内田 信義	吉田愛青園	鹿児島市
副会長	十島 真理	きずな野吾子の里	鹿児島市	事務局長	川畑 岩夫	あさひが丘学園	鹿児島市
会計	内村 浩子	セルフ鹿児島	鹿児島市				

鹿施連の各地区支部等の理事名(令和5~6年度)

支部名	役職名	氏名	施設名	支部名	役職名	氏名	施設名
鹿児島市	支部長	中村 俊久	しょうぶ学園	北薩摩	副支部長	松元 由香里	川内なずな園
鹿児島市	副支部長	十島 真理	きずな野吾子の里	大隅	支部長	宮園 利郎	和光学園
鹿児島市	副支部長	兼廣 倫生	あおいとり	大隅	副支部長	竹下 鈴代	和光学園
南薩摩	支部長	垂口 政治	ハイビスカス福祉会	奄美・種子	支部長	上妻 正博	たちばな園
南薩摩	副支部長	蓮子 保満	更生会	奄美・種子	副支部長	石崎 一	希望の星学園
北薩摩	支部長	宮司 礼子	川内なずな園	二役会選任	理事	岡元 鐵哉	サポートなごみ

令和4年度の各支部の活動状況

～ 厳しい状況下でも
～ 頑張っています

【鹿児島市地区支部】

年6回の理事会を開催し、支部活動の深化を図り、情報交換・研修の場としています。

各種の研修会には、代表者が出席しています。令和5年2月のサンロイヤルホテルで開催された「家族並びに施設職員研修会」において、あさひが丘学園保護者会員が「家族の思い」を発表しました。

また、鹿児島市地区支部独自の研修会を鹿施連と合同で令和5年3月9日、講師に鹿児島きょうだいの会代表西野翔太氏を招き開催しました。鹿施連の牽引役としての自覚を持って活動を展開しています。

【南薩摩地区支部】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部独自の研修会は自粛していました。

2月4日の「家族並びに施設職員研修会」への参加者を進めていきたい。

3月9日の鹿施連「研修会」については、「親亡き後の利用者ときょうだい」との関係についての学びを深め、とても良かった。各家族会においても研修会を開催したい。

【北薩摩地区支部】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部活動は自粛していました。

令和5年度への変わり目として、4月に会員家族会に声掛けし、6家族会が集まり、5年度の支部活動について協議し、情報交換等を行いました。

今期も地区支部長・副支部長について「川内なずな園保護者会」が引き続き行います。

また、今後は、支部独自の研修会を開催し、意見交換をすることとしています。

【大隅地区支部】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部活動として、支部役員会を開催し、各施設に対してコロナ感染防止のための支援を行いました。

サンロイヤルホテルで開催された「家族会並びに施設職員等による研修会」に参加しています。令和5年度は、支部長・副支部長の交代時期であり、「和光学園家族会」に引き継ぎをしています。

【奄美・種子・屋久地区支部】

奄美……令和5年3月、利用者等の情緒不安定、睡眠障害等解消のため、アロママッサージの体験会を開催しました。令和5年度は、利用者や会員同士の交流のため「ボッチャ大会」を計画しています。

種子島・屋久島……令和5年2月「家族並びに施設職員研修会」において、たちばな園保護者会員が「家族の思い」を発表しました。令和4年度はコロナ感染防止のため活動を自粛した。

お知らせ 鹿施連「研修会」の日程等決定

- 開催日時 令和5年11月20日(月)
13:15～(受付開始12:30)
- 開催場所 鹿児島市小野1丁目1番1号
ハートピアかごしま1F 多目的ホール(099-246-1616)
- 講師 北九州市立大学
小賀久教授(「地域共生ホーム」の執筆者)

詳細については、後日案内文を発送いたします。多数のご参加をお待ちしています。

全施連 令和5年度九州評議会の開催 ～会長等会議の開催～

6月27日(火),熊本市内の森都心プラザにおいて,福岡県3名,熊本県2名,大分県1名,宮崎県3名,鹿児島県1名の10名が参加して開催されました。

協議事項として

- ① 全施連九州ブロック代表理事の選出 ▶ 鹿施連の中村俊久会長にお願いします
- ② 全施連九州ブロック常任委員の選出 ▶ 福岡県連の八木トミエ会長にお願いします
- ③ 九州協議会の開催 ▶ 熊本県連において,九州ブロックの研修会を開催します
- ④ 今後の活動について ▶ 一番苦しい時期であるが,子供や兄弟姉妹のため頑張るしかない

等とのことでした。

全施連 令和5年度社員総会の開催 ～書面議決～

令和5年6月30日(金),一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会(略称,全施連)社員総会が書面議決により開催されました。

議案の審議の結果,令和5年度の事業計画として

- ① 24時間一貫した快適な支援施設の新設に関する請願
- ② 介護保険優先と障害者支援法との統合反対
- ③ 行政(国・地方自治体),議会(国,地方自治体)への陳情と意見交換の実施
- ④ 全会員の意識向上のため,統一テーマ(地域共生ホーム)による研修会の実施(年1～2回)
- ⑤ 全施連ニュースの発行(年2～3回)
- ⑥ 組織の拡大と強化
- ⑦ 友誼団体との連携強化

等が提案され,承認されました。

また,令和5年度・6年度の役員改選があり,副理事長(九州ブロック代表理事)に鹿施連の中村俊久会長,監事に鹿施連の川畑岩夫事務局長が選出され,承認されました。

今後の全施連全国大会の開催については,開催県をこれまで,熊本県,群馬県となっていたが,再検討し,開催県並びに時期を協議することとなりました。

全施連の活動の様子は,全施連ホームページ <http://zensiren.web.fc2.com/> で調べることができます。

「全施連ニュース」や各県発行の「会報」,今までの「かごつま家族ねっと」なども紹介されています。